

このとおり、学校評価について報告いたします。

高松市立中央小学校 校長 長谷川 絵里

	評価項目	評価 4段階	自己評価結果と改善方策等	学校関係者評価結果および意見等
1	確かな学力の育成に関すること (学力向上、キャリア教育、英語教育、情報教育等)	3. 0	一人一人の児童が自分の考えをもち、主体的に伝え合う活動の推進に向け、言葉だけではなく、絵や図、操作活動を取り入れ、表現力の育成に努める。	・教師は授業を工夫しており、俳句など他分野にわたり勉強している。
2	豊かな心を育てる教育の推進に関すること (道徳教育、小中一貫・連携教育、シビックプライド、読書活動、体験活動等)	2. 8	教職員相互の道徳の授業を参観するなど、授業改善の意識は高い。にじ学習を中心に地域の施設や保護者に働きかける活動の充実に努めた。	・今後必要になるプレゼン能力向上につながる授業をPCなども活用しながら積極的に行っていた。
3	生徒指導の充実に関すること (いじめ、不登校対策、学校生活のきまり(校則など)等)	3. 4	児童間のトラブルに対しては、団や管理職と共有し、早期の対応を心がけた。小さな事案であっても大きく発展しないよう、日々の見守りと指導を心がけた。	・子どもたちが人前でも堂々と発表・スピーチするのを見て、大いに感心した。先生方のご指導の賜物だと思う。
4	運動に親しむ習慣づくりと体力の向上に関すること (体力・運動能力の育成)	2. 9	日々の体育科の授業において、体力つくりの運動を取り入れている学級もあったが、全校の取り組みとなるよう改善を図る。	・子どもたちが積極的に楽しそうに授業を受けているのを見て、感心した。中央小の子どもたちの将来が楽しみである。
5	食育の推進と心身の健康づくりに関すること	3. 2	栄養教諭の食育の指導を中心に、日々の給食指導を行った。無言給食により、食事をする時間が確保でき、残飯の減少にもつながった。	・子どもたちはそれぞれできるようになったことを生き生きと発表していた。
6	学校人権教育の推進に関すること	3. 1	日々の道徳教育とともに、人権月間を設定し、人権意識を高める活動を充実させた。児童会活動においても児童同士がお互いの良さを見つけ全校放送した。	・先生はもちろん、子どもたちもタブレット、電子黒板を使いこなしていることに驚いた。
7	特別支援教育の推進に関すること	3. 1	特別支援学級の児童や、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童等に関する共通理解の場を設定し、個に応じた対応を意識づけた。	・書道、図工の展示が学年ごとに素晴らしかった。
8	教員の資質向上と教育指導体制の充実に関すること (職員のコンプライアンス・現職教育等)	2. 8	現職教育の時間を中心に、公開授業以外においても、事前授業を参観する場を設定するなど、現職教育主任を中心に教師の資質向上に努めた。	・活発な発表を見て、児童の豊かな心の育成になっていると感じた。
9	安心・安全で質の高い教育環境の整備に関すること	3. 4	50周年を迎えるにあたり、壁や建具等に破損箇所も見られ、その都度補修を行っている。定期的な安全点検により、点検、補修を継続する。	・体の不自由な児童のサポートをするなど、思いやりをもった子どもたちが育っている。
10	家庭や地域との連携・協働に関すること (高松型コミュニティ・スクール等)	3. 3	高松型学校運営協議会を2回実施し、学習参観も運動会を含め3回行った。コロナ禍ではあるが少しずつ保護者や地域住民とのつながりを取り戻している。	・できることの発表の中で、縄跳びやマット運動をする子どもたちを見て、しっかりと体力づくりができていると感じた。
11	働き方改革・業務改善に関すること (時間外勤務の削減等)	3. 3	未来プロジェクトからボトムアップされる改善策について、おおむね実施及び削減できている。年間の時間外在校等時間も平均45時間以内に抑えた。	・「街をきれいに」をテーマにしたプレゼンが素晴らしかった。みんなが同じ気持ちをもって、自分たちの地域を大切にしている気持ちを養ってほしい。
				・トイレの洋式化について、実現できてよかった。
				・本気で取り組む姿勢、挑戦し続ける姿に感動した。